

SSKS

発行人 SSKS 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号室

あゆみ会報

編集人 湘南あゆみ会
〒254-0807 平塚市代官町 2 1 - 4 SEA 平塚ビル 3 F フレンズ湘南内
TEL/FAX 0 4 6 3 - 2 4 - 0 4 2 0
定価 5 0 円（会員は年会費に含まれています）

2025 年 6 月号 第 213 号

報 告

● NPO 法人じんかれん定期総会

第 14 回じんかれん定期総会が 5 月 15 日、かながわ県民センターで開かれ、湘南あゆみ会からは代表者 11 人中 6 人が出席しました。

川本絵理神奈川県精神保健福祉センター所長の来賓挨拶の後、議長 二見吉明理事、書記 三富清弘理事で議事が進められました。

第 1 号議案 2024 年度事業報告、第 2 号議案 2024 年度収支報告、第 3 号議案監査報告が報告・承認されました。2024 年度の大きな啓発事業としては、関東ブロック 1 都 6 県が持ち回りで行なっている「みんなねっと関東ブロック大会」を 11 月 14 日「県民の集い」も兼ねて川崎市高津市民館で開催しました。

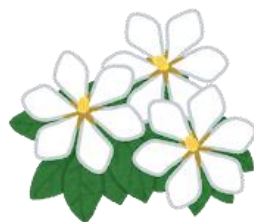
続いて第 4 号議案 役員選任、第 5 号議案 2025 年度事業計画案、第 6 号議案 2025 年度収支予算案が諮られ承認されました。2025 年度の「県民の集い」は、11 月 13 日に横須賀市生涯学習センターにおいて夏苺郁子先生を招いて行なわれます。

毎年 神奈川県に対して申し入れてきた精神障害者に対するバス運賃割引の要望については、京浜急行バスに続き、神奈川中央交通が 2025 年 4 月 1 日から実施する事になりましたが、県内の全てのバス会社が行なうように今後も活動を続けていきます。

役員は理事長が清水信氏から小松守也氏に交代となりました。

総会終了後、「家族会 意見交換会」が行なわれました。この企画は初めてで、良い情報交換の場となりました。主な内容は以下の通りです。

- ・家族が元気で精神疾患を持った人の良き理解者、支援者となることを目標にし、オープンダイアログの勉強会を続けている。（海老名 2πr）
 - ・「家族相談の会」を保健所主催、家族会共催で、全家庭にチラシを配布して公募し、2 ヶ月に 1 回行なっている。（横須賀 つばさの会）
 - ・入会チラシを大判で作り、行政・病院の窓口に貼ってもらった。（秦野 のぞみ会）
 - ・「家族の会」の広告をタウンニュースにのせ、2 年で 60 人位入会者があった。その費用は社協に申請して認められた。企業の助成金をもらうようにしている。（川崎 あやめ会）
 - ・年会費 4000 円。みんなねっと誌は全員が購読しているが、会から 1000 円補助している。（鎌倉青い麦の会）
 - ・最近、入会者よりも退会者が多い。家族学習会を続けて行なっている。（湘南あゆみ会）
- など。



● 2025 年度平障連総会 5 月 25 日 平塚市福祉会館

落合平塚市長、木川社会福祉協議会会長、田中福祉部部長のご挨拶の後 2024 年度の事業報告、決算報告があり、2025 年度の事業計画案、予算案が承認されました。

昨年度、基幹相談支援センターが「共生の町平塚」をスローガンに、平塚市役所障がい福祉課内に設立されました。障がいの種別や年齢によらない総合的な相談窓口で、本人・家族・支援者からの相談に対応しています。 湘南あゆみ会は理事 2 名、代議員 4 名出席

（開設時間 平日 8：30～17：00 TEL 0463-21-8774 FAX 0463-21-1213）

● 心理勉強会 5 月 28 日 13：00～16：30 平塚市福祉会館 参加者 13 名

講師 心理カウンセリングルームそらいろ代表 井上雅裕氏

テーマ 「当事者が何をしても改善しないときにすること」

もうどうしていいかわからず、当事者に対して全く希望を持てなくなってしまった時に、その状態から抜け出す方法はあるのでしょうか。改善、回復が遅々として進まず、失望感に苛まれる時、びっくりされるかも知れませんが、出来ることは次の事です。

回復のための支援や期待をしないようにする

回復した当事者に後で聞いて分かったことは、親の期待を裏切っていることと、早期の回復を期待され続けることが辛かったそうです。お子さんの未来を考えて正しいことをしているつもりが反って追いつめている場合があります。



当事者の負担になっている期待を一度取り除く。向上を期待しない。挨拶や日常生活のコミュニケーションはして、温かく見守るだけにする。



しばらく放置すると自分から向上したい、というほどはつきりはしないが ちょっとでも快適に、楽しく過ごしたいという感情が育ってくることもある。そうなったらよい傾向。

お子さんのエネルギー量よりも保護者のエネルギー量を少なくする。この事はマネジメント全般、精神疾患全般に通じる。（高 EE は回復を妨げる。EE とは感情表出 Expressed Emotion の頭文字。特に批判的な気持ちと、心配する気持ちが強い高 EE グループは再発のリスクが高い。本人との距離が保たれている低 EE が望ましい。）



ホ・オポノポノ

もう一つの話題としてハワイの自己クリーニングによる問題解決法、古来から伝わる集団セラピーのホ・オポノポノが取り上げられました。無意識の領域に語りかける方法です。スピリチュアルな雰囲気があり一時、大ブームになりましたが、今では下火になっているそうです。しかし、世界に広めたヒューレン博士が触法精神患者（犯罪を犯した患者）に試したら全員退院できた実績があります。博士は患者の誰とも会わずカウンセリングも行わず、囚人のファイルを開いて、後述する四つの言葉を語っていただけだそうです。当事者と同居していると効果がよく分かるケースがあるそうですが、同居していなくても驚くような効果があるときもあるようです。過干渉によってお

子さんが音信不通になってしまうケースがありますが、その様な時にでも出来る事だと思います。

・ **基本的な考え方** 現実に現れる問題は過去の記憶の再生と考える。解決のためには外側ではなく、内側の不要な記憶をクリーニングする事が重要。当事者の苦しみも過去の記憶の再生が原因であることが多い。

・ **実践で用いる四つの言葉**

- 1 ごめんなさい (I'm sorry) : 問題の原因かも知れない記憶へ謝罪。
- 2 許してください (Please forgive me) : その記憶に、自分を許すようお願い。
- 3 ありがとう (Thank you) : クリーニングへの感謝。
- 4 愛しています (I love you) : もっとも強力なクリーニングの言葉。

・ **実践の方法**

問題に対して・・・順序は問わず心の中で四つの言葉を繰り返し唱えます。

日常的に・・・ 問題がない時も、意識的に唱えることで内側のクリーニングを促します。

・ **期待される効果**

心の平和 : 不要な感情が解放され、安らぎを取り戻す。

問題解決 : 内側のクリーニングにより、問題が自然と解決へ向かう。

人間関係の改善 : 不要な記憶のクリーニングで、調和的な関係へ。

自己受容 : 自分自身を受け入れ、愛せるようになる。



障害年金不支給増加 みんなねっとは厚労省大臣に要望書を提出しました

【障害年金制度に関する緊急要望】

2025 年 5 月 9 日

2024 年度の障害者年金申請において、不支給と判定された人数が昨年度の 2 倍以上に急増し、約 3 万人に達したという報道は、制度への信頼を大きく揺るがすものです。機構の資料等によると、この急増には属人的な要因や、職員による判定医への誘導とも受け取れる実態があることが示唆され、恣意的な運用が行なわれている疑念があります。

このような事態は、障害年金制度が重要な社会保障であることを鑑みれば、許容できません。現行制度は医学モデルに偏向しており、特に精神障害者の生活実態を十分に反映しているとは言い難く、機構における申請者への消極的な姿勢や職員の専門性不足も指摘されています。障害年金は国民の信頼の上に成り立つものであり、公正かつ丁寧な審査が不可欠です。

早急に何らかの対応策が不可欠と考えます。つきましては下記の事項を強く要望致します。

要望内容

1. 審査体制の多角化 : 医師に加え、精神保健福祉士等を含む合議制とすること。
2. 生活実態調査の導入 : 申請者の生活状況、就労状況等を把握するため、訪問調査等を実施すること。
3. 判定基準の明確化 : 精神障害の判定基準を具体的に公開し、就労状況を評価に加えること。
4. 審査プロセスの透明化 : 審査過程、判断理由等の情報開示を徹底すること。

5. 日常生活能力の多角的評価：家事、金銭管理等の困難さを具体的に評価すること。
6. 社会参加状況の評価：地域活動への参加状況や孤立状況等を評価に加えること。
7. 福祉サービス利用状況の評価：利用サービスの種類や目的等を評価に加えること。
8. 職員研修の充実：職員に対し、障害者福祉に関する専門知識等を涵養すること。
9. 専門家の配置：審査部門に精神保健福祉士等を配置し、多角的な審査をすること。
10. 相談体制の強化：申請者が安心して手続きできるよう支援すること。
11. 組織文化の改革：申請者に丁寧かつ公正な対応を行なう組織文化を確立すること。

お詫びと訂正

あゆみ会報 5 月号において、内容に誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

3 ページ：第 2 部 江口友子氏との意見交換会

誤 透析・エイズは国の特定疾病のため影響を受けない。

正 透析・エイズの場合も年齢制限の影響を受けるが、他の救済制度を利用することにより負担を軽くすることができる。

これからの予定とお知らせ

7 月 23 日（水）心理勉強会 平塚市福祉会館 13：00～16：00

8 月 5 日（火）じんかれん研修会 かながわ県民センター304 号室 10：00～12：00

講師 日本医労連・精神病院部会 元部会長 氏家憲章氏

テーマ：夜明け前を迎えた精神医療

日精協「病床維持」から「ダウンサイジング（病床削減）」へ方針転換
精神障害当事者の人権が守られる医療について共に考えましょう。

参加費 無料 定員 60 人（申し込み不要）荒天等で中止する場合があります。

お問合せ NPO 法人じんかれん（事務所 火・木 9：00～15：00）

TEL 045-821-8796 FAX 045-821-8469

8 月 27 日（水）サロンあゆみ 平塚市福祉会館 13：00～16：00

こんぺいとう（精神保健福祉ボランティアグループ）活動予定

6/28（土）サロン・食事会 平塚市福祉会館 2 階調理室/1 階・いこい室

11：00～14：00 会費 300 円

7/12（土）お茶会 中央公民館 3 階・和室 13：30～15：30 会費 100 円

悪天候の時には活動中止にする時もあります。

連絡先 佐藤 090-8487-0129

会場の利用時間に合わせてご来場ください。

予約は不要です。

